

報道資料

平成 28 年 7 月 21 日

1 件 名	これからの生きる姿勢を学ぶ！語りあう3日間！ —世界ヴィレッジデザイン会議—
2 日 時	2016 年 8 月 5 日（金）～8 月 7 日（日） 時間は下記参照
3 場 所	山口市阿東、山口情報芸術センター [YCAM] スタジオ A
4 内 容	<p>山口情報芸術センター [YCAM] は、山口市阿東地区を拠点に、地域資源を用いた活動を通じて持続可能な社会の可能性を描き出すプロジェクト、「Spedagi Ato(=スベダギ阿東)」の活動を推進しています。</p> <p>今年度は、この活動を通じて出会った人々とともに、これからの社会について未来へのアイデアを話し合う、3 日間に渡るイベント「世界ヴィレッジデザイン会議」を開催します。</p> <p>《世界ヴィレッジデザイン会議》</p> <p>① 村おこし国際会議 《合宿形式》 日時：8 月 5 日（金）14：00～20：00 / 6 日（土）10：00～20：00 会場：阿東文庫 定員：30 名（無料・要申込） ※会場までの交通費、現地でのお風呂、飲食代は別途必要 申込方法：YCAM WEB サイト内の専用ページ (http://special.ycam.jp/wvd/) から応募</p> <p>② YCAM セッション 日時：8 月 7 日（日）13：00～17：00 会場：山口情報芸術センター [YCAM] スタジオ A 定員：150 名（無料・申込不要） ※「世界ヴィレッジデザイン会議」の詳細については別添資料をご覧ください。</p> <p>▼Spedagi Ato（スベダギ阿東）について 2014 年にインドネシアで発足したソーシャルデザインプロジェクト「Spedagi」の日本の運営団体である Spedagi Japan が、過疎の進む山口市内の中山間地域阿東地区で発展させているプロジェクト。YCAM、宇部市のデザイン会社オープンハウス、阿東地域の住民チームと協働で阿東地区に自生する竹を素材とする自転車の開発を進めている。※Spedagi はインドネシア語の造語で「朝自転車に乗る」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"></div> <p>インドネシアでの村おこし国際会議の様子 インドネシアでの Spedagi(スベダギ)の様子</p> <p>是非この機会にご取材、ご掲載いただけますようお願いいたします。</p>
5 問い合わせ	山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課（担当：青柳・岡崎・橋本） TEL:083-901-2222 /FAX:083-901-2216 メールアドレス： press@ycam.jp

世界ヴィレッジデザイン会議 タイムテーブル

村おこし国際会議 (ICVR2) in 阿東

YCAMセッション

8/5 (FRI)

8/6 (SAT)

8/7 (SUN)

 <p>13:45 徳佐駅集合</p> <p>14:00～ オープニングトーク</p> <p>15:00～ フィールドワーク</p> <p>18:00～ 夕食/温泉 フリータイム</p> <p>21:00～ 宿泊先移動</p>	<p>10:00～ セミナー サイニ・アリフ (ゲームデザイナー) エギ・ヘグリアナ (DISCA スタッフ)</p> <p>10:50～ セミナー シンギー・カルトノ (ICVR主催者) フランシスカ・カリスト (Pasar papringan project 代表)</p> <p>11:30～ 昼食</p> <p>13:00～ セミナー クスマ・セカツラム (マーケットマネージャー)</p> <p>13:30～ セミナー グデ・クレスナ・ナタ・ドイジャクサラ (建築家)</p> <p>14:20～ ショートセッション 東京サイクルデザイン専門学校 高校サミット / トイトイ</p> <p>15:30～ フィードバック ディスカッション</p>  <p>18:00～ アフターパーティ</p> <p>20:30～ 宿泊先移動</p>	<p>10:00～ ワークショップ bamboo play – 竹の風車をつくって遊ぼう！ 講師：サイニ・アリフ (ゲームデザイナー)</p> <p>13:00～ オープニングトーク YCAM</p> <p>13:30～ ICVR レポート シンギー・カルトノ</p> <p>14:10～ 都市から見た ヴィレッジデザイン mi-ri meter 笠置 秀紀</p> <p>14:40～ ツアーレポート Spedagi Ato</p> <p>15:10～ オープンディスカッション</p> <p>16:30～ 18:00 ソーシャルパーティ / 交流会</p> 
--	---	---

※ICVRは「The International Conference on Village Revitalization」の略

《村おこし国際会議》

8月5日(金) 14:00-20:00 / 6日(土) 10:00-20:00

山口市の中山間地域である阿東地区を実際に訪れ、現地の実情を探るフィールドワークや、インドネシアから来たさまざまな専門分野で活動をおこなうゲストのトーク、そして参加者同士の意見交換がおこなわれ、異なる地域や世代を超えた参加者が、中山間地域の実態を理解し合い、これからの持続可能なああ社会について合宿形式で議論します。

《YCAMセッション》

8月7日(日) 13:00-17:00

前日まで行われていた、「村おこし国際会議」の速報レポートに加え、Spedagi Ato プロジェクトに参加している、YCAM や株式会社オープンハウス、阿東地域の人々による意見交換会を実施。さらに、「都市から見たヴィレッジデザイン」と題して、東京で都市空間や公共空間をテーマに活動をおこなう mi-ri meter(ミリメーター)の笠置秀紀が講演をおこなう。

▶ 「村おこし国際会議」トーク登壇ゲスト



フランシスカ・カリスタ

バンドン工科大学と千葉大学デザイン学科を卒業後、Spedagiに参加し、竹林を切ることなしにマーケット活動へ組み込むことで、竹林の保護を試みる [Pasar papringan project] の主催者。



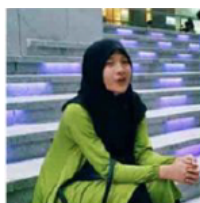
ザイニ・アリフ

バンドン工科大学を卒業後、自身の過ごす村でプロダクトデザイナーとして活動。今回の世界ヴィレッジデザイン会議では、竹の風車を作るワークショップを実施。



エギ・ヘグリアナ

インドネシアの西ジャワ州に位置するスカブミ村で、OISCAのスタッフとし勤務。
※OISCA=オイスカ・インターナショナルは、本部を日本に置き、現在34の国と地域に組織を持つ国際NGOです。



クスマ・ディヤー・セカラルム

インドネシアのジャワ島中部の都市サラティガで活動する若干18歳の女性。Spedagi バンブーバイクの製品活動のマーケットマネージャーとして挑戦している。



ゲデ・クレスナ・ナタ・ドイジャクサラ

ジャカルタとデンパサールにおいて、建築家として活動の後、2004年にバリの村に戻る事を決意する。地図やドキュメント、地域の知恵の保存する取り組みRumah intaran projectを進めている。



シンギー・スシロ・カルトノ

1968年インドネシア・カンダガン村出身。2004年にクラフト製品を扱う「Piranti Works」を創業、「magno」ブランドを立ち上げる。magnoの木のラジオは国際的な賞を多数受賞し、世界中のメディアに掲載される。2012年、ソーシャルデザイン活動である「Spedagi」をスタート。経済活動と人材が大都市に集中する一方で衰退してゆく村の状況に危機感を感じ、その解決策を探るため2014年から2年に1度、村おこし国際会議を開催している。

関連イベント：

《展示》「How to make a bamboo bike バンブーバイクができるまで」

7月16日(土)～8月29日(月) 10:00～20:00 火曜休館 無料

YCAM1階インフォメーション・スペースにて、竹の特性や加工法、竹を使った自転車のデザイン案、インドネシアと阿東地域での現地調査の様子等をパネルや映像、実際の自転車の展示で紹介。

《ワークショップ》「bamboo play—竹の風車をつくって遊ぼう！」

8月7日(日) 10:00～12:00 無料 ※募集はすでに定員に達しております。

インドネシアのゲームデザイナー、ザイニ・アリフ氏を講師に迎え、インドネシアと日本の竹の皮や葉を使って音の出る風車を作り、ゲームをおこなうワークショップ。